

PRESS RELEASE 2013年6月13日

黒澤明監督特集上映会に、香川京子登壇 7/13～14 光州劇場(韓国)

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)ソウル日本文化センターでは、今夏、ソウル及び光州にて、黒澤明監督作品の特集上映を行います。光州会場では、女優の香川京子及び東京国際女性映画祭ディレクターの大竹洋子が登壇し、トークショーを開催いたします。

誘拐事件をスリリングに追った『天国と地獄(1963年)』、町医者を描いたヒューマニズム大作『赤ひげ(1965年)』といった、黒澤監督のフィルモグラフィを彩る大作に出演した香川京子。聞き役に、女性という観点から映画を見つめてきた大竹洋子を迎え、日本を代表する名監督と大女優の仕事に迫ります。

【香川京子プロフィール】

東京都出身。新東宝に入社後1950年に島耕二監督『窓から飛び出せ』で女優デビュー。以降、成瀬巳喜男、今井正、小津安二郎、溝口健二、熊井啓等の監督作品に出演し、清楚なキャラクターで人気を博す。1993年、黒澤明監督『まあだだよ』での日本アカデミー最優秀助演女優賞を始め、多数の映画賞を受賞。2011年には、日本人として初めて国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)賞を受賞。



香川京子

【大竹洋子プロフィール】

日本女子大学で日本文学を専攻。1986年より東京国際女性映画祭のディレクターを務める。日韓文化交流基金、日本ポルトガル協会、日本映画ペンクラブといった多くの団体に関わり、日本の女性映画監督を世界に紹介することや、その育成に努めている。

●香川京子・大竹洋子トーク:

7/13(土)、14(日) 映画上映後

●黒澤明監督特集 日程:

6/20(木)～7/7(日):ソウルアートシネマ

7/13(土)～7/20(土):光州劇場

●上映タイトル(全14作品、英語、韓国語字幕付)

『野良犬』『静かなる決闘』『醜聞』『羅生門』『白痴』
『生きる』『七人の侍』『蜘蛛巣城』『隠し砦の三悪人』
『用心棒』『椿三十郎』『天国と地獄』『赤ひげ』
『まあだだよ』



【お問い合わせ】国際交流基金ソウル日本文化センター 山崎
電話 82-2-397-2822

文化事業部 情報提供・映像管理チーム 本多
電話 03-5369-6064



国際交流基金

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1
www.jpff.go.jp